

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1007 男女共同参画推進事業	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本施策	41 あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	目	19	男女共同参画費
		細目	101	男女共同参画推進経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	03	男女共同参画講座事業経費
担当部課	コード	653000		担当者氏名
	名称	阿山支所住民福祉課		
		連絡先	43 - 0333 (内線) 222	

**事務事業の概要 (Plan)**

対象(誰を、何を)	阿山地域の住民・自治会・団体・企業等	※対象件数
成果(どうする)	男女が、性別に関係なく尊重され、職場・家庭・地域でそれぞれの個性と能力が発揮できる社会の実現	
根拠法令・要綱等	伊賀市男女共同参画推進条例	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画進める会の座談会開催(全12回)と事業推進にむけた取組支援。</li> <li>男女共同参画講演会の開催。</li> <li>男女共同参画週間パネル展「女性と人権」開催。</li> </ul>	
社会情勢の変化等	平成21年度より、男女共同参画講演会やパネル展を開催することにより、阿山地域における男女共同参画の意識向上に向けた取り組みを行った。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
男女共同参画講演会の開催	目標	回	0	0	1	1
	実績		0	1		
男女共同参画座談会の開催	目標	回	4	4	12	12
	実績		4	12		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
男女共同参画講演会の参加者数		講演会会場最大収容人員(150人上限)を指標とします。	人	目標	0	0	150
				実績	0	119	150
男女共同参画座談会の参加者数		リーダー育成のため少人数を指標とし10人/回以内とします。	人	目標	90	70	100
				実績	64	86	100

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	68		34		34		34	
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他一般財源	68		34		34		34
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440
フルコスト(A)+(B)		788		1,474		1,474		1,474

**事務事業の評価 (Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	○
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
男女共同参画について推進ができず、男女平等の意識が薄れていく。		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <b>100%</b> 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 <b>無</b>	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	市民に幅広く男女共同参画を推進するために、事業の回数や理解度が向上する啓発を行う。
昨年度の取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b>
	【詳細】 男女共同参画講演会やパネル展による啓発を開催し、参加した市民には啓発を行うことができた。

**今後の方向性 (Action)**

担当課長氏名	福田 真由美
事業の方向性	【方向性】 <b>現状維持</b>
	【理由】 男女共同参画の推進に向けて、核となるリーダーの育成として、男女共同参画をすすめる会の充実と、講演会を中心に市民の理解度の向上を目指す。
現時点における課題、その他	自治会、自治協などの役職で女性の参画が見られないなど、知識としては周知されているが、現状は進んでいない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	女性リーダーの育成と自治会、自治協などの役職に女性の登用率の向上を目指して、平成22年後期から平成24年度に開催の各地区別懇談会において啓発を図る。